

令和 8 年度

# 特別会計当初予算の概要

Overview of The Initial Special Account Budget

2 0 2 6



国見町

# 目 次

令和 8 年度国見町大木戸財産区特別会計当初予算の概要	1
令和 8 年度国見町入山財産区特別会計当初予算の概要	2
令和 8 年度国見町石母田財産区特別会計当初予算の概要	3
令和 8 年度国見町後期高齢者医療特別会計当初予算の概要	4
令和 8 年度国見町国民健康保険特別会計当初予算の概要	5
令和 8 年度国見町介護保険特別会計当初予算の概要	7
令和 8 年度国見町土地開発事業特別会計当初予算の概要	9
令和 8 年度国見町渇水対策施設特別会計当初予算の概要	10
令和 8 年度国見町水道事業会計当初予算の概要	11
令和 8 年度国見町下水道事業会計当初予算の概要	13

## 令和8年度国見町大木戸財産区特別会計予算の概要

### 1. 事業の概要

- (1) 財産区の設置 昭和39年3月21日  
 (2) 財産区の区域 旧大木戸村及び旧西大枝の一部（築館、原町）  
 (3) 山林の所在 国見町大字貝田字猪石山1外  
 (4) 山林所有面積 36.25ha  
     内訳 分収林 33.73ha（県行造林）  
         直営 2.52ha  
 (5) 樹種 スギ、アカマツ外  
 (6) 立木推定蓄積量 9,329m<sup>3</sup>

### 2. 予算の概要

管理会に要する経費及び看守員による巡視の賃金など、一般管理経費が主なもので、予算総額は歳入歳出それぞれ127千円になります。

### 3. 歳入歳出予算

(歳入)

(単位：千円)

款	本年度予算額	前年度予算額	増減額	増減比(%)
1 繰入金	96	106	△10	△9.4
2 繰越金	30	46	△16	△34.8
3 諸収入	1	1	0	0.0
計	127	153	△26	△16.9

(歳出)

(単位：千円)

款	本年度予算額	前年度予算額	増減額	増減比(%)
1 管理会費	101	101	0	0.0
2 総務費	21	47	△26	△55.3
3 予備費	5	5	0	0.0
計	127	153	△26	△16.9

## 令和8年度国見町入山財産区特別会計予算の概要

### 1. 事業の概要

- (1) 財産区の設置 明治37年11月14日  
 (2) 財産区の区域 旧藤田町外3ヶ村の一部  
 (3) 山林の所在 白石市小原字雨塚山2-2外  
 (4) 山林所有面積 265.33ha  
     内訳 分収林 255.72ha  
           (森林総合研究所森林農地整備センター・地区)  
           直営 9.61ha  
 (5) 樹種 スギ、アカマツ、ヒノキ、カラマツ外  
 (6) 立木推定蓄積量 31,583m<sup>3</sup>

### 2. 予算の概要

管理会に要する経費及び管理委員による境界踏査、看守員による巡視の賃金など、一般管理経費が主なもので、予算総額は歳入歳出それぞれ181千円になります。

### 3. 歳入歳出予算

(歳入)

(単位：千円)

款	本年度予算額	前年度予算額	増減額	増減比(%)
1 財産収入	150	150	0	0.0
2 繰越金	30	43	△13	△30.2
3 諸収入	1	1	0	0.0
計	181	194	△13	△6.7

(歳出)

(単位：千円)

款	本年度予算額	前年度予算額	増減額	増減比(%)
1 管理会費	101	101	0	0.0
2 総務費	75	88	△13	△14.7
3 予備費	5	5	0	0.0
計	181	194	△13	△6.7

# 令和8年度国見町石母田財産区特別会計予算の概要

## 1. 事業の概要

- (1) 財産区の設置 明治34年12月21日
- (2) 財産区の区域 大字石母田
- (3) 山林の所在 国見町大字石母田字雑司屋敷9外
- (4) 所有財産面積 山林 137.2ha  
畑 2.3ha  
その他 7.4ha  
建物 510.51㎡
- (5) 樹種 アカマツ、スギ、カラマツ等
- (6) 立木推定蓄積量 44,264m<sup>3</sup>
- (7) その他 令和3年度まで議会制、令和4年度から管理会制に移行

## 2. 予算の概要

管理会に要する経費及び管理委員による境界踏査、財産区事務所の維持管理など、一般管理経費が主なもので、予算総額は歳入歳出それぞれ510千円になります。

## 3. 歳入歳出予算

(歳入)

(単位：千円)

款	本年度予算額	前年度予算額	増減額	増減比(%)
1 財産収入	52	42	10	23.8
2 繰越金	158	1,109	△951	△85.7
3 諸収入	1	1	0	0.0
4 繰入金	299	0	299	皆増
計	510	1,152	△642	△55.7

(歳出)

(単位：千円)

款	本年度予算額	前年度予算額	増減額	増減比(%)
1 管理会費	101	101	0	0.0
2 総務費	404	1,046	△642	△61.3
3 予備費	5	5	0	0.0
計	510	1,152	△642	△55.7

## 4. 基金の状況(見込み)

(単位：千円)

区分	令和7年度末	令和8年度増	令和8年度減	令和8年度末
石母田財産区財政調整基金	10,136	23	299	9,860

# 令和8年度国見町後期高齢者医療特別会計当初予算の概要

## 1. 事業の概要

後期高齢者医療制度では、広域連合が保険者となってその運営を行うため、本特別会計では、町の実施する保険料の収納と広域連合への納付のための各種費用、健診業務等の保健事業の実施に伴う費用等に係る予算となっています。

なお、広域連合を運営するための医療給付等の町負担分、事務経費としての共通経費は一般会計での拠出となっています。

① 被保険者数 令和7年12月末現在 2,098人（前年度 2,024人※12月末時点）

② 保健事業（令和7年度実績見込）

健康診査（集団健診）受診者数 652人

人間ドック・脳ドック費用助成申込者 107人

## 2. 予算の概要

歳入歳出予算の総額は、それぞれ 228,786千円で、前年度当初予算と比較して 42,026千円（22.5%）増となっています。

歳入の主なものは、被保険者からの保険料収入が 155,962千円で前年比 17.0%増、一般会計からの繰入金が 60,783千円で前年比 25.6%増、広域連合からの健診事業委託料等の諸収入が 7,271千円で 41.8%増、国庫支出金が 4,769千円（システム改修費用に係る補助金）となっています。

歳出の主なものは、事務経費である総務費は 9,516千円で前年比 121.4%増（今年度はシステム改修があるため大幅な増額）、保険料収入や健診事業負担金等の広域連合納付金が 204,452千円で前年比 19.2%増、健診事業に係る保健事業費が 14,588千円で 36.7%増となっています。

## 3. 歳入歳出予算

（歳入）

（単位：千円）

款	本年度予算額	前年度予算額	増減額	増減比(%)
1 後期高齢者医療保険料	155,962	133,223	22,739	17.1
2 繰入金	60,783	48,408	12,375	25.6
3 繰越金	1	1	0	0.0
4 諸収入	7,271	5,128	2,143	41.8
5 国庫支出金	4,769	0	4,769	-
計	228,786	186,760	42,026	22.5

（歳出）

（単位：千円）

款	本年度予算額	前年度予算額	増減額	増減比(%)
1 総務費	9,516	4,299	5,217	121.4
2 後期高齢者医療広域連合納付金	204,452	171,556	32,896	19.2
3 諸支出金	130	130	0	0.0
4 保健事業費	14,588	10,675	3,913	36.7
5 予備費	100	100	0	0.0
計	228,786	186,760	42,026	22.5

## 令和 8 年度国見町国民健康保険特別会計当初予算の概要

### 1. 事業の概要

平成 30 年度から国民健康保険制度が改正され、福島県とともに保険者となり、その運営を行っています。本特別会計は、町が実施する国保税の収納と保険給付費をまかなうための福島県へ納付する各種費用、健診業務等の保健事業の実施に伴う費用等に係る予算となっています。

#### ① 被保険者(R7 年度 12 月末現在・R6 年度 12 月末現在) (単位：人)

項 目		令和 7 年度	令和 6 年度	増 減
被保険者数	70 歳以上	652	698	△46
	19～69 歳	1,076	1,093	△17
	0～18 歳	105	111	△6
合 計		1,833	1,902	△69

#### ② 保険給付費 (内訳) (単位：千円)

項 目		令和 8 年度 予算額	令和 7 年度 予算額	増減比(%)
一般被保険者療養給付費		560,733	568,834	△1.4
一般被保険者療養費		1,673	2,181	△23.3
審査手数料		2,943	2,943	0.0
高額療養費	一般被保険者高額療養費	73,658	75,294	△2.2
	一般被保険者高額介護合算療養費	150	143	4.9
移送費		20	20	0.0
出産育児一時金 (2 人見込)		1,001	1,001	0.0
葬祭費 (20 人見込)		1,000	1,000	0.0
合 計		641,178	651,416	△1.6

#### ③ 保健事業 (令和 7 年度実績見込を計上)

特定健診 (集団健診) 受診者 749 人  
 (特定保健指導) 積極的支援該当者 18 人 動機づけ支援該当者 50 人  
 人間ドック費用助成申込者 208 人

#### ④ 医療費適正化推進事業

レセプト審査の委託、医療費通知・ジェネリック医薬品差額通知の作成送付、ジェネリック希望シールの配布、柔道整復療養費調査、重複・頻回受診及び重複・多剤服薬者の訪問指導

#### ⑤ 国保保健指導事業

特定健康診査未受診者対策勧奨通知、糖尿病性腎症重症化予防、その他重症化予防事業

#### ⑥ 国民健康保険財政調整基金残高 (令和 7 年度末見込) 43,844 千円

## 2. 予算の概要

歳入歳出予算の総額は、歳入歳出それぞれ 970,827 千円とし、前年度と比較し 23,999 千円 (2.4%) 減となっています。

歳入では、国民健康保険税が 192,505 千円で対前年比 7.7%減、国庫支出金は 2,800 千円で対前年比 3,489.7%増 (システム改修費用に係る補助金を含むため、前年度より大幅に増額)、県支出金が 679,602 千円で対前年比 1.4%減、一般会計繰入金が 95,814 千円で対前年比 0.8%減となっています。

歳出では、保険給付費が 641,178 千円で対前年比 1.6%減、国民健康保険事業費納付金が 228,118 千円で対前年比 8.4%減、保健事業費が 40,478 千円で対前年比 8.8%増となっています。

## 3. 歳入歳出予算

(歳入)

(単位：千円)

款	本年度予算額	前年度予算額	増減額	増減比(%)
1 国民健康保険税	192,505	208,592	△16,087	△7.7
2 国庫支出金	2,800	78	2,722	3,489.7
3 県支出金	679,602	689,556	△9,954	△1.4
4 財産収入	98	48	50	104.2
5 繰入金	95,814	96,543	△729	△0.8
6 繰越金	1	1	0	0.0
7 諸収入	7	8	△1	△12.5
計	970,827	994,826	△23,999	△2.4

(歳出)

(単位：千円)

款	本年度予算額	前年度予算額	増減額	増減比(%)
1 総務費	40,667	36,682	3,985	10.9
2 保険給付費	641,178	651,416	△10,238	△1.6
3 国民健康保険事業費納付金	228,118	249,028	△20,910	△8.4
4 保健事業費	40,478	37,195	3,283	8.8
5 基金積立金	98	48	50	104.2
6 諸支出金	10,288	10,457	△169	△1.6
7 予備費	10,000	10,000	0	0
計	970,827	994,826	△23,999	△2.4

# 令和8年度国見町介護保険特別会計当初予算の概要

## 1. 事業の概要

(1) 被保険者等(令和7年12月末現在)

①第1号被保険者数 3,554人(75歳以上2,127人) (前年同月3,584人)

②要介護認定者数 713人(75歳以上650人) (前年同月715人)

要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	認定率
67人	71人	132人	136人	132人	96人	79人	20.0% (前年19.9%)

(2) 介護給付費 1,338,846千円

内訳 介護サービス等諸費：1,229,885千円 — 居宅サービス費 435,548千円  
 介護予防サービス等諸費：16,546千円 — 地域密着型サービス費 223,691千円  
 審査支払手数料：1,217千円 — 施設サービス費 570,646千円  
 高額介護サービス等費：33,600千円  
 高額医療合算介護サービス費：4,500千円  
 特定入所者介護サービス等費：53,098千円

(3) 地域支援事業費 85,693千円

- ・介護予防・生活支援サービス事業(訪問型サービス、通所型サービス等)
- ・一般介護予防事業(介護予防普及啓発、地域介護予防活動支援事業等)
- ・包括的支援事業・任意事業(地域包括支援センター事業委託、認知症施策推進事業等)

(4) 介護給付費準備基金残高(令和7年度末見込み) 195,824千円

## 2. 予算の概要

令和8年度歳入歳出当初予算は、町が定める第9期介護保険事業計画(計画期間令和6年度～令和8年度)を基本としながら、第9期計画期間中の居宅サービス、施設サービスの利用見込等を勘案して編成しています。

歳入歳出予算の総額は、歳入歳出それぞれ1,493,632千円で、前年度と比較して1.3%の増となっています。

歳入の主なものは、第1号被保険者保険料260,338千円(2.2%減)、国庫支出金334,902千円(1.2%減)、支払基金交付金371,061千円(0.6%減)、県支出金208,753千円(0.3%増)、繰入金311,367千円(8.6%増)となっています。

歳出の主なものは、総務費63,011千円(21.3%増)、保険給付費1,338,846千円(0.9%減)、基金積立金779千円(98.7%増)、地域支援事業費85,693千円(28.2%増)となっています。

### 3. 歳入歳出予算

(歳入)

(単位：千円)

款	本年度予算額	前年度予算額	増減額	増減比(%)
1 保 険 料	260,338	266,251	△5,913	△2.2
2 分担金及び負担金	0	0	0	0
3 国庫支出金	334,902	339,061	△4,159	△1.2
4 支払基金交付金	371,061	373,270	△2,209	△0.6
5 県支出金	208,753	208,187	566	0.3
6 財産収入	779	392	387	98.7
7 繰入金	311,367	286,756	24,611	8.6
8 繰越金	1	1	0	0
9 諸収入	6,431	921	5,510	598.3
計	1,493,632	1,474,839	18,793	1.3

(歳出)

(単位：千円)

款	本年度予算額	前年度予算額	増減額	増減比(%)
1 総務費	63,011	51,963	11,048	21.3
2 保険給付費	1,338,846	1,350,360	△11,514	△0.9
3 基金積立金	779	392	387	98.7
4 地域支援事業費	85,693	66,821	18,872	28.2
5 諸支出金	303	303	0	0
6 予備費	5,000	5,000	0	0
計	1,493,632	1,474,839	18,793	1.3

## 令和8年度国見町土地開発事業特別会計当初予算の概要

### 1. 事業の概要

本会計は、福島地方土地開発公社に委託している小坂地区緑住区の管理に係る特別会計で、福島地方土地開発公社への委託料の支払いに充ててきました。

新たな土地取引が発生するまでの間は、存目計上になります。

### 2. 予算の概要

歳入では、存目計上として、土地売払による財産売払収入1千円、一般会計繰入金1千円、繰越金1千円、預金利子1千円を合わせた歳入総額を4千円と見込みました。

歳出では、委託料1千円を存目計上し、予備費3千円を合わせた歳出総額を4千円と見込みました。

### 3. 歳入歳出予算

(歳入)

(単位：千円)

款	本年度予算額	前年度予算額	増減額	増減比(%)
1 財産収入	1	1	0	0.0
2 繰入金	1	1	0	0.0
3 繰越金	1	1	0	0.0
4 諸収入	1	1	0	0.0
計	4	4	0	0.0

(歳出)

(単位：千円)

款	本年度予算額	前年度予算額	増減額	増減比(%)
1 総務費	1	1	0	0.0
2 予備費	3	3	0	0.0
計	4	4	0	0.0

## 令和8年度国見町渇水対策施設特別会計当初予算の概要

### 1. 事業の概要

本会計は、東北新幹線蔵王トンネル掘削に伴う自然湧水枯渇によるかんがい用水の送水に係る特別会計で、財源は渇水対策施設基金とその運用収入で実施しております。

令和8年度の管理運営については、かんがい期における水需要に応じた効率的な送水を行うことで電気料等の経費節減を図るとともに、石母田ポンプ場、高城ポンプ場の両施設における維持修繕等も随時実施する予定としております。

### 2. 予算の概要

この会計の財源である基金については、低金利時代の中にあって令和8年度も引き続き効率的な運用を図ることとして予算編成しました。土地開発公社への貸し付けについて、70,000千円の運用を予定し、財産収入において2,900千円（前年比95.9%増）を見込みました。また、老朽化する施設等の維持管理に対応するため、繰入金において9,000千円を見込みました。

その結果、歳入歳出の予算総額は前年度比420千円増の11,951千円となりました。

### 3. 歳入歳出予算

(歳入)

(単位：千円)

款	本年度予算額	前年度予算額	増減額	増減比(%)
1 財産収入	2,900	1,480	1,420	95.9
2 繰入金	9,000	10,000	△ 1,000	△ 10.0
3 繰越金	50	50	0	0.0
4 諸収入	1	1	0	0.0
計	11,951	11,531	420	3.6

(歳出)

(単位：千円)

款	本年度予算額	前年度予算額	増減額	増減比(%)
1 管理会費	110	121	△ 11	△ 9.1
2 財産管理費	11,791	11,360	431	3.8
3 予備費	50	50	0	0.0
計	11,951	11,531	420	3.6

### 4. 渇水対策施設基金の状況

(単位：千円)

区分	令和7年度末 (見込み)	令和8年度増減額 (見込み)	令和8年度末残高 (見込み)
町	328,522	△ 9,000	319,522
貝田	20,770	0	20,770
山根	11,940	0	11,940
合計	361,232	△ 9,000	352,232

## 令和8年度国見町水道事業会計当初予算の概要

### 1. 事業の概要

- (1) 給水件数 41,460件 (月平均3,455件)
- (2) 給水人口 7,816人 (令和7年12月31日現在)
- (3) 1日平均給水量 2,255m<sup>3</sup> (令和7年度 2,456m<sup>3</sup>)
- (4) 年間総給水量 822,940m<sup>3</sup> (令和7年度 896,570m<sup>3</sup>)

### 2. 予算の概要

水道事業収益については、令和8年度も安全で良質な水道水の安定供給に努めるとともに、福島地方水道用水供給企業団からの受水量については、東日本高速道路株式会社による東北自動車道の橋床板修繕工事の使用量が予定より少量となったため、前年受水量の約8.3%減を見込んでおります。

水道事業費用については、一層の経費削減や経営の合理化を図り、引き続き経営の健全化に努めてまいります。単年度における収益的収支においては21,739千円(税抜)の純損失の見込みです。

資本的支出については、生活基盤施設耐震化事業交付金により、避難所等の重要給水施設への配水管布設替等を図るとともに、単独事業においては老朽管の布設替工事及び、新規に配水池更新に伴う調査、水道企業会計システムの更新等を予定しています。

資本的収入については、国庫補助金、企業債等を見込んでおり、不足する額については内部留保資金(過年度分損益勘定留保資金)等で補填する予定としました。

### 3. 収益的収入及び支出

(収入)

税込 (単位：千円)

項	本年度予算額	前年度予算額	増減額	増減比(%)
1 営業収益	220,641	224,351	△3,710	△1.7
2 営業外収益	25,212	24,408	804	0.3
3 特別利益	1	1	0	0.0
計	245,854	248,760	△2,906	△1.1
【剰余金】	【△21,739(税抜)】			

(支出)

税込 (単位：千円)

項	本年度予算額	前年度予算額	増減額	増減比(%)
1 営業費用	259,111	251,920	7,191	2.9
2 営業外費用	1,674	1,229	445	36.2
3 特別損失	1	1	0	0.0
4 予備費	100	100	0	0.0
計	260,886	253,250	7,636	3.0

#### 4. 資本的收入及び支出

(収入)

税込 (単位：千円)

項	本年度予算額	前年度予算額	増減額	増減比(%)
1 国庫補助金	4,000	7,725	△3,725	△ 48.2
2 企業債	10,000	15,000	△5,000	△ 33.3
3 工事負担金	1	1	0	0.0
4 出資金	0	8,000	△8,000	△100.0
計	14,001	30,726	△16,725	△ 54.4
<b>【補填金】</b>	<b>【79,743(税込)】</b>			

(支出)

税込 (単位：千円)

項	本年度予算額	前年度予算額	増減額	増減比(%)
1 建設改良費	77,455	73,931	3,524	4.8
2 企業債償還金	16,289	16,320	△ 31	△ 0.2
計	93,744	90,251	3,493	3.9

#### 5. 令和8年度建設改良工事等

税込 (単位：千円)

事業名	事業費	事業概要	事業箇所
生活基盤施設耐震化 事業交付金	14,000	配水管布設替	山崎字北町田
老朽管更新事業	26,355	配水管布設替	山崎北口 他
漏水調査事業	3,000	スマートメーター導入事業	町内1箇所
配水池更新事業	15,000	貝田配水池更新調査	貝田配水池

## 令和8年度国見町下水道事業会計当初予算の概要

### 1. 事業の概要

町民の生活環境向上を図るとともに、公共用水域の水質の保全に資するため、下水道事業で整備した総延長29kmに及ぶ下水道管路の安定的かつ適正な維持管理を実施します。

(1) 排水人口	3,688人	(令和7年度	3,782人)
(2) 年間処理水量	396,707m <sup>3</sup>	(令和7年度	390,160m <sup>3</sup> )
(3) 1日平均処理水量	1,087m <sup>3</sup>	(令和7年度	1,069m <sup>3</sup> )

### 2. 予算の概要

収益的収入では、営業収益として主な収入である下水道使用料等は、排水量の推移などから74,011千円、営業外収益では、他会計負担金、国庫補助金、長期前受金戻入等132,059千円を計上し、総額で206,070千円となります。

収益的支出では、営業費用のうち、管渠費は管渠の維持管理に要する費用として、14,321千円、総係費は事業活動の全般に関する費用として、18,490千円、また、流域下水道管理費は36,386千円、減価償却費は125,483千円、営業外費用のうち、主な支出である支払利息は8,043千円を計上し、総額で206,025千円となり、単年度における収益的収支は、1,007千円(税抜)の純利益の見込みです。

資本的支出については、建設改良費として公共汚水柵設置等に要する費用9,300千円、流域下水道建設負担金5,048千円、企業債償還金126,106千円を合わせて140,454千円を計上しました。

資本的収入については、他会計負担金、企業債、負担金95,202千円を見込んでおり、不足する額については内部留保資金等で補填する予定としました。

### 3. 収益的収入及び支出

(収入)

税込(単位:千円)

項	本年度予算額	前年度予算額	増減額	増減比(%)
1 営業収益	74,011	73,311	700	△ 0.9
2 営業外収益	132,059	138,054	△ 5,995	△ 4.3
計	206,070	211,365	△ 5,295	△ 2.5
【剰余金】	【1,007(税抜)】			

(支出)

税込(単位:千円)

項	本年度予算額	前年度予算額	増減額	増減比(%)
1 営業費用	194,680	195,183	△ 503	△ 2.6
2 営業外費用	11,044	12,452	△ 1,408	△ 11.3
3 特別損失	1	1	0	0.0
4 予備費	300	300	0	0.0
計	206,025	207,936	△ 1,911	△ 0.9

#### 4. 資本的收入及び支出

(収入)

税込 (単位：千円)

項	本年度予算額	前年度予算額	増減額	増減比(%)
1 国庫補助金	2,150	0	2,150	-
2 他会計負担金	6,000	5,000	1,000	20.0
3 企業債	87,200	53,200	34,000	63.9
4 負担金	2	2	0	0.0
計	95,352	58,202	37,000	63.8
【補填金】	【45,252(税込)】			

(支出)

税込 (単位：千円)

項	本年度予算額	前年度予算額	増減額	増減比(%)
1 建設改良費	14,348	10,490	3,858	36.8
2 企業債償還金	126,106	133,791	△7,685	△5.7
計	140,454	144,281	△3,827	△2.7

#### 5. 令和8年建設改良工事等

税込 (単位：千円)

事業名	事業費	事業概要	事業箇所
公共汚水柵設置工事	5,000	公共汚水柵設置	藤田地区 他
マンホールポンプ更新工事	4,300	マンホールポンプ交換設置	滝山地区
流域下水道建設負担金	5,048	県北流域下水道整備等	